

事務事業評価表

記入年月日	平成16年4月14日			
平成16年度	事業コード	12220	電話	042-769-8346
担当部課名	保健所	保健予防	課	感染症予防 班
事務事業名	性感染症検査・相談事業			
予算上の事務事業名	性感染症検査・相談事業			

1 総合計画における位置づけ

政策名	第2章	生涯にわたる健康づくりを進めます	事業開始年度
基本施策名	第2節	市民健康づくりの推進	15年度
施策名	第2施策	保健サービスの充実	

2 実施根拠及び関連法令等

感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律 性感染症に関する特定感染症予防指針

3 事務の区分

自治事務

4 経費の区分

その他の経費

5 事務事業の分類

国庫補助事業

6 受益者負担

なし

7 事業概要

(1)事業の目的...何をどのように(どのような状態に)したいのか	(2)対象(誰、何)
感染に不安を持つ人(感染者及びその家族を含む)が安心して相談や検査を受けることができるようにし、性感染症の予防及びまん延の防止を図る。また感染経路が同じHIV感染の予防につなげる。	感染に不安を持つ人や感染者及びその家族
	対象数 308 単位 人
(3)平成15年度事業の内容...市が実際に行った事業の内容	
検査・相談 原則毎週火曜日(休日、12月29日~1月3日を除く)午前9時~11時 検査・相談件数 283件(うち相談のみ 3件)	
電話・窓口での随時相談 開庁日の8時30分~午後5時 相談件数 25件	
(4)個別計画の概要	概要
計画名 相模原市総合医療計画	基本目標 「健康づくりの実践により、生涯にわたる健康づくりを進めます」 (3)疾病対策と健康づくり 感染症・性感染症
計画年次 14年度~21年度	相談検査

8 評価指標...事業の目的達成度を計るための指標

16,17年度は目標値

成果指標	指標名	指標式・指標の単位	指標設定の意図	指標の推移(年度)				
				13	14	15	16	17
	陰性者割合増減率	本年度陰性者割合÷前年度陰性者割合×100 単位% 開始年度の15年度を100とする	検査の結果が陰性だった割合の増減率から検査・相談による感染防止の効果を見る			100	105	105
	活動指標	検査実施者数増減率 本年度実施人数÷前年度実施人数×100 単位% 性器クラミジア検査を対象 開始年度の15年度は実施前に想定した500人との増減率	検査実施人数の増減率から周知方法等を検討する			56	130	150

9 事業費等の年度別状況

〔金額単位：千円〕

事業費	決算(予算)額	平成13年度	平成14年度	平成15年度	平成16年度	平成17年度
		決算	決算	決算(見込み)	予算	予算(見込み)
	人員・時間数			0.10人/年	0.10人/年	0.14人/年
	人件費			763	763	1,144
	その他経費					
	合計	0	0	2,138	2,274	3,816
	特定財源			382	472	854
	対象数(人)			308	400	600
	単位あたり経費(円)	#DIV/0!	#DIV/0!	6,941.6	5,685.0	6,360.0

10 個別評価(担当課による一次評価)

(1)達成度 評価 B ▼	A:達成している	チェック項目	・成果指標の達成度 <input type="checkbox"/> 高 <input checked="" type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 低
	B:一部達成していない		・活動指標の達成度 <input type="checkbox"/> 高 <input checked="" type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 低
	C:達成していない		・事業目標の達成度 <input type="checkbox"/> 高 <input checked="" type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 低
		説明	HIV検査と同時に実施しており、昨年度のHIVの検査人数と比較して大きく伸びているが、予定人数には到達しなかった。
(2)必要性 評価 A ▼	A:適応している	チェック項目	<input checked="" type="checkbox"/> ・市民や社会のニーズにかなっている
	B:一部適応していない		<input checked="" type="checkbox"/> ・状況の変化(対象や内容)に対応している
	C:適応していない		<input type="checkbox"/> ・当初設定した事業目的が達成されていない
		説明	<input checked="" type="checkbox"/> ・国、県、民間、市民との役割分担から見て、市が事業を行う必要がある 若者を中心に感染の拡大傾向にある性器クラミジア等の性感染症検査について、保健所が無料・匿名の検査・相談を行うことはニーズにかなっており、予防及びまん延防止の効果は大きい。
(3)有効性 評価 A ▼	A:有効である	チェック項目	<input checked="" type="checkbox"/> ・上位の施策、計画目的達成のために有効である
	B:一部有効でない		<input checked="" type="checkbox"/> ・期待された成果が得られている
	C:有効ではない		性感染症のまん延は不妊など健康への深刻な影響を及ぼすため、生涯にわたる健康づくりに有効な事業である。
		説明	
(4)効率性 評価 A ▼	A:優れている	チェック項目	<input checked="" type="checkbox"/> ・予算や人員に見合った効果が得られている
	B:一部改善の余地がある		<input type="checkbox"/> ・他市と比べてコストや効率性が優れている
	C:改善の余地がある		<input checked="" type="checkbox"/> ・他の類似事例と比べてコストや効率性が優れている
		説明	<input checked="" type="checkbox"/> ・同一対象者に対して同種のサービスが重複していない HIV検査と同時に実施すること、また同様の血液検査であることから、人件費が抑えられるとともに、検査を受ける人の利便性も図られている。
(5)公平性 評価 A ▼	A:公平である	チェック項目	<input checked="" type="checkbox"/> ・対象者と非対象者との不公平・不均衡は、妥当な範囲である
	B:一部公平でない		<input type="checkbox"/> ・受益者の費用負担は適正である
	C:公平でない		<input checked="" type="checkbox"/> ・対象者の設定は適切である(年齢や所得等を考慮している)
		説明	感染に不安を持つ者や感染者及びその家族など、検査・相談を希望する者が性別・年齢等の区別なく受けられるものである。
(6)成果の向上及び費用対効果を高めるための方策		(7)今後の課題となっていること	
利便性のよい検査・相談日時の設定や会場の追加などにより、より利用者の増加が可能となり成果の向上が期待できる。			

11 総合評価(担当課による一次評価)

評価	A ▼	他自治体の類似事業との比較
今後の進め方		各自治体検査状況 ・神奈川県...週1回(1箇所)・夜間(1箇所) ・横浜市.....毎土曜(1箇所)・毎火曜の夜間(1箇所) ・川崎市.....毎日曜(1箇所) ・横須賀市...週1回(1箇所)・月1回夜間(1箇所)
<input checked="" type="checkbox"/>	継続	総合評価に関する説明
<input type="checkbox"/>	見直し	若者を中心とした感染者の増加の中で、予防及びまん延防止のため継続すべき事業である。また検査機会を拡大するために利用者の利便性を考慮し、HIV検査とともに実施曜日及び会場の追加が求められる。
<input type="checkbox"/>	完了・廃止	
<input type="checkbox"/>	完了(廃止)済	

12 二次評価コメント(行政評価会議による二次評価)

--